

理解推進事業

恒例の美術作品展、11月から開催!!
絵画や書、手工芸品など作品を募集 中

障がい者の文化活動と社会参加を促す恒例の作品展が今年も11月29日から12月6日までパルテノ多摩特別展示室で開催され、現在、作品を募集中。市内在住または市内の学校や企業、作業所等へ通っている障がいのある方なら誰でも応募可能。25回目を迎える節目の年に、作品を展示してはどうだろう。



申込みは多摩市障害者福祉協会のホームページからダウンロードした用紙に必要事項を記入して郵送かメールで(宛先などは1頁上を参照) ※写真は昨年のもよう

資源化センター事業

回収した物から資源を回収

酷暑のなかでリサイクル

7月の作業実績は14日間でおよそ70時間。総選別量は前月比3%増の約99トンだった。

処理施設は市内を東西に貫く幹線道路沿い。正面左手を入った大型車から大量の資源物が降ろされ、種類別にそれぞれの処理部署に回されていき、そこで細かく分別・回収が行なわれる。



色別に選別されたびんは地下に集められる

尾根幹線道路沿いにある処理場には大型トラックが頻繁に出入り

加盟団体からのお知らせ

- アートひまわり
南野 3-15-1 5階 ☎373-8455
- NPO 法人あしたや共働企画
諏訪 5-6-3-101 ☎372-3690
- NPO 法人暉望(色えんぴつの家・グループ TOMO)
永山 3-9 ☎372-3382
- NPO 法人くぬぎ
永山 3-9 ☎375-2583
- NPO 法人どんぐりパン
諏訪 5-6-3-105 ☎371-9236

- サンクラブ多摩
南野 3-15-1 5階 ☎356-0308
- 多摩市視覚障害者福祉協会
聖ヶ丘 1-28-26-103 ☎372-8051
- NPO 法人多摩市身体障害者福祉協会
南野 3-15-1 3階 ☎338-7009
- 多摩市手をつなぐ親の会
落川 1234-2 ☎371-8809
- 多摩市聴覚障害者協会
聖ヶ丘 1-19-5-201 FAX 372-0939

移動支援事業

梅雨も明け夏本番! お祭りや映画、花火大会などヘルパーと一緒に楽しもう

西浅草から松が谷にかけて広がるかつぱ橋道具街には調理器具や食器、食品サンプル、食材などを扱う店がひしめき、一日じゅう楽しめる。スカイツリーや浅草寺など定番スポットをまわったついでに寄ってみては



学校が夏休みに入り、花火大会や音楽祭など大きなイベントが目白押しの7月は、近隣でのショッピングや映画鑑賞などのほか、毎年多くの人出でにぎわう湘南ひらつか七夕まつりなどへの遠出をあわせ、計47件の利用があった。9月にかけて、まだまだいろいろな催し物が開催されるので、ぜひヘルパーと一緒に出かけよう。

就労支援事業所に行ってきました

ワークショップハーモニー

調布駅からバスで15分、更に静かな住宅街を歩き進めると2階建ての建物が見える。就労継続支援A型と就労移行支援事業を行なう三鷹市内の施設だ。中では30名弱の利用者がパンや豆腐、燻製等を作っており、1階の店舗で販売している。おしゃれなパン屋の外観に、ちよつと買い物してこうかなという気持ちにさせられる事業所である。

三鷹市役所前から歩いて5分程のところにあるレストラン『ハーモニーガーデン』。パスタや本格的な窯で焼いたピザは近隣の方にも大人気。パンや豆腐などワークショップハーモニーの製品も並ぶ



NPO法人多摩市身体障害者福祉協会

身体障がい者の家族を中心に1966年に設立、2008年にNPOとなった。会員は93人。年1回の研修旅行や書道などのサークル活動を通じ会員間の親睦と障がいに対する啓発活動を行なっている。また、就労継続支援B型のアートひまわり、福祉ショップの売店ひまわりの運営を通じ、会員の自立訓練等を行なっている。

市役所と総合福祉センター内にある『売店ひまわり』には会員が手づくりした名刺入れや絵手紙、小物入れ、キーホルダーなどが並んでいる



※の一まの『HOT ほっと』は2014年9月号、本部で発行してありました『多障協だより』は2014年1月発行の冬号をもって最終号とさせていただきます、2014年9月より2つを統合し『月刊relier』としてリニューアル発行させていただきます。法人ともども今後ともよろしくお願いいたします

多摩市障害者福祉協会



つながりを力に、人と人を結ぶ
月刊多障協通信 ルリエ



発行：多摩市障害者福祉協会
多摩市南野3-15-1 総合福祉センター5階
障害者団体共用室

☎042-356-0308 FAX042-311-2327
ホームページ http://tashokyo.com

多障協だより
ゆく夏を惜しむ
厳しい残暑の号

2015年8月25日発行
2015年第2巻第8号 通巻12号

relier

目次

事業報告

- 発達障害者支援法の施行から10年1
- 支援センターの一ま 2
- 障がい者就労支援センター 3
- 理解推進事業 4
- 移動支援事業 4
- 資源化センター事業 4
- 加盟団体からのお知らせ 4
- 加盟団体紹介 4
- 就労支援事業所に行ってきました 4

連載

- NEWS 1
- 今月の花 1
- プログラムカレンダー 2
- 今月のひと口解説 3
- 現場からの声 3

発達障害者支援法の施行から10年

～切れ目のない支援と理解を～

発達障害者支援法の施行から本年4月で10年を迎えた。本法は理念法の性格が強く、自閉症やアスペルガー症候群、広汎性発達障害、注意欠陥多動性障害(ADHD)、学習障害(LD)などを総称して「発達障害」と定め、発達障害児(者)の早期発見、教育や就労などの支援を求めたものだ。法が施行され障がい特徴への認知度も高まり、支援は少しずつ進んできているが、必ずしも十分とはいえない状況にある。多摩市では「発達支援室」を中心に発達障害の乳幼児期から思春期に係わる対応が可能となっており相談件数も増加傾向にある。現在、施行10年を機に法改正の動きがあるが、今後、発達障害への正しい理解をより深く、乳幼児期から成人期までの切れ目のない支援体制をどのようにつくるかが大きな課題のひとつとなっている。

NEWS～障がい当事者の声を届けたい

今年4月の統一地方選挙で、聴覚障がい者の女性2人が東京都北区議選と兵庫県明石市議選でそれぞれ当選した。特に明石市での耳が聞こえず、声も出ない議員の誕生は国政を含め全国初。北区では議場に聴覚障がい者向けの音声同時翻訳ソフトと音声読上げソフトが導入され、聴覚障がいのある議員への対応が実現したほか、聴覚障がい者による議会傍聴も容易となった。明石市議会でも手話通訳者を配置するなど必要な支援に取組んでいる。市民の声を行政に反映すべき議会の場における両議員の活躍に、各方面から大きな期待が寄せられている。

今月の花

百日紅(さるすべり)



百日紅の花は夏から秋にかけて長く楽しめるため、庭や公園などによく植えられている。スパスベした幹の印象から、猿が登ろうとしても滑ってしまうというのでその和名がついたが、実際には簡単に登ってしまうとか。その柔らかく、しなる幹肌が美しい。枝いっばいについたほんぼりのような花がきれいに咲き誇る。暑さに強い元気な百日紅。可愛い花に癒されながら、厳しい残暑を乗り切ってみませんか。

※『relier』は「つながり」や「結びつき」を表わすフランス語。人と人、地域と地域をつなげることで真の共生をめざしたいという意味を含め、リニューアルした広報誌にこの名前をつけました

外出プログラム報告

7月4日の外出プログラムは、『Tama Zoo Train』に乗り、多摩動物公園に行った。参加は13名。オランウータンのスカイウォークやコアラのエサやり、チンパンジーの常設展など29ヶ所を見物した。参加者からは「動物園の雰囲気や、木の香りもよく良いフレッシュになった。」「多くの参加者と関わって楽しめた」「コアラが餌を食べるところが見れてよかった」などの感想が聞かれた。



⊖アスレチックで遊ぶオランウータン

7月相談件数

相談人数は前年同月比2%増の152名。プログラムの開催数が5回増えた事により、参加者が前年同月に比べ81%増加した。件数は前年同月比7%減の331件。障害年金や福祉サービスの利用や更新手続き、医療や生活、金銭に関する相談が全体の39%を占めた。

6月の新規登録は2名であった。

社会生活力アッププログラム

第一回の社会生活力アッププログラムは17名が参加した。自己紹介の後、3グループに分かれて『人間関係』『娯楽』をテーマに話し合いを行った。初回ということもあり、参加者には緊張が見られたが、積極的な発言や質問があり、今後はレベルの高いグループワークが期待できる。

お知らせ
新職員のあいさつ

長柄美粧(ながえみさ)と申します。趣味は、パン作りです。来所の際は、声をかけてください。

つむぎ館まつりお手伝い募集

日程10月31日(土)、11月1日(日)※
詳細は職員まで

リラックス体操お知らせ

23日は祝日の為お休みです。

今月の映画『バック・トゥ・ザ・フューチャー2』

タイムマシンで30年前へとさかのぼってさえない家族の運命を激変させた高校生が、今度は30年後の未来に起こるトラブルを回避しようとしたことから思わぬ事態を引き起こす。

実績報告
福祉相談会に参加

7月は就職後の定着支援が昨年に比べ約半数となった。昨年は有給休暇取得の方法や就労時間の見直しについてなど本人からの相談が多く134件であったが、今年は定期的な職場訪問・面談が中心で60件となった。就職前の相談は69件で昨年の12件から5倍増となった。計画相談のモニタリングやA型利用のための聞き取りなど福祉サービスにつながるものが多かった。7月の相談件数は423件で昨年とほぼ同。新規就職は1人だった。

また、7月24日に多摩桜の丘学園の生徒と保護者に向けての福祉相談会が市役所内の会議室で開かれ、事業説明を行った。

バーベキュー体験で夏を満喫!

天候が心配された台風一過の7月18日、地域施設を利用した余暇の過ごし方をテーマに大谷戸公園キャンプ練習場でバーベキューを行なった。あらかじめ話し合い利用者のなかからリーダーを選出。今回のプログラムから主体的に関わってもらった。10:00。参加者17名が食材調理班と火おこし班に分かれ作業開始。それぞれのリーダーが誘導し作業を行なった。自分の役割を見付けて積極的に動く人、やり方や自分の役割が見つけられず指示を待つ人など個性が見られた。焼き場が狭いこともあり、食事のタイミングが前後に分かれたことで、後から食べるメンバーに食材が残っていないというハプニングもあり、他の人のことを考えて行動するということが反省点としてあがった。天気にも恵まれ、作業や食を共にすることで新旧メンバーが親交を深める良い機会となった。



①共用の焼き場スペースは他の団体もいてにぎやかだ

①②焼き場は暑さと煙で燻製状態になる

職場ルポ編 vol.3

東電ハミングワーク株式会社

現場からの声

聖蹟桜ヶ丘駅からバスと徒歩で約15分。坂を上った研修センター敷地内の一角で7年前、清掃と印刷事業からスタートした。45名のスタッフも現在は6事業120名を超え、昨年7月には電力量計の分解・仕分けを行なう計器事業部が加わった。「コーポレートスローガン『未来を広げる可能性』にしたがい『できることを増やす』『できることを伸ばす』『できることを活かす』。この三本柱を支援の基本としています」(清掃事業部兼事業総括部・藤崎哲也さん)。指導にあたる班長は「なぜできないのか」ではなく「どうすればできるようになるのか」という視点で支援に携わる。発足から約1年の計器事業部の作業は他事業と違い唯一の流れ作業。ネジを外し、次の人がガラス蓋を外す。更にいくつかの工程があり、ひとつ欠けても完了しない。皆それぞれの役割があり協調性も要求される。事業部それぞれ特性があり部署異動をすることでひとつひとつとさまざまな仕事に挑戦し仕事の幅を広げてもらいたいとも考えている。指導員-班長の質的な向上にも取り組み、会社全体の成長につなげるべく毎月1回、指導者研修会を実施している。スキルを伸ばすのと同時に人間力と職業人としての心構えなどを伝えたい。この思いが事業とメンバー全員の明日を支えている。

東電ハミングワーク株式会社
本社：日野市百草 460 番地
設立：2008年7月1日
業務内容：印刷、清掃、園芸、計器解体、貸出管理、社内便・郵便物集配、事務補助
従業員数：122名(うち障がい者85名 2015年7月1日現在)



日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
			社会生活力アッププログラム 14:00~15:30		イブニングタイム 17:45~19:30	利用者ミーティング 14:00~15:00
6	7	8	9	10	11	12
やすみ	やすみ		リラックス体操 14:00~15:00		イブニングタイム 17:45~19:30	映画会 『バック・トゥ・ザ・フューチャー2』 13:30~15:30
13	14	15	16	17	18	19
やすみ	やすみ		16スタッフ会議 10:00~12:00 社会生活力アッププログラム 14:00~15:30		イブニングタイム 17:45~19:30	
20	21	22	23	24	25	26
やすみ	敬老の日 やすみ	こくみん国民の日 やすみ	しゅうぶんの日 やすみ		イブニングタイム 17:45~19:30	コーラス 14:00~15:30
27	28	29	30			
やすみ	やすみ					

